

2月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

71,562円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	13,230円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	8,203円
会場費	2,200円
通信費(携帯電話代、折込代)	47,929円
支出計 14/2/3~14/3/2	71,562円
寄付 尾崎さん	10,000円

市政を考える

月刊武松

発行日

14/3/3

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

武松政策研究会

第141号

16500部発行

富士山噴火と酒匂川氾濫!?

宝永地震の49日後に富士山大噴火！ 噴火後8ヶ月で堤防決壊！

2月の2回の大雪で、被災地ではまだ通常の生活に戻れず、多くの家屋・インフラ・農業被害も心配です。今回は、たまたまかもしれませんが、改めて小田原は住みやすい所だと思います。

さて、雪で、あれだけの状態ですから、これが火山灰だったら大変な事になります。

南海トラフ地震の発生が危惧されている中、1707年に起こった地震と、その後の富士山の噴火により、小田原がどのような状態になったのか、歴史を紐解いてみます。

1707年10月28日 宝永地震

(東南海・南海連動型地震) M8.4~8.7

死者 2万人以上、倒潰・流出家屋6万~8万軒。

関東から九州までの太平洋岸に津波、伊豆・伊勢・紀伊・阿波・土佐などで大きな被害。

小田原での記録は、「箱根で地震」。

1707年12月3日 山麓で地響き

12月3日から富士山麓で地響きが始まる。

1707年12月15日 山麓で地震頻発

夜から富士山の山麓一帯ではマグニチュード 4~5程度の強い地震が数十回起こった。

1707年12月16日 富士山噴火の始まり

地震から49日後。午前10時頃、富士山の南東斜面から白い雲のようなものが湧き上がり急速に大きくなっていった。その後、富士山の東斜面には高温の軽石が大量に降下し家屋を焼き田畑を埋め尽くした。夕暮れには噴煙の中に火柱が見え、火山雷による稲妻が飛び交うのが目撃された。

1707年12月18日 富士山噴火の被害調査

幕府役人9名が小田原宿で富士山噴火の状況を調査する。

1707年12月31日 富士山大噴火終焉

夜になり噴火が激しくなる。夜遅くに爆発が観測され、その後噴火は終焉した。

噴火により降下した焼け砂は、富士山東側の広い耕地を覆った。農民たちは田畑の復旧を目指し、焼け砂を回収して砂捨て場に廃棄した。砂捨て場の大きな砂山は雨のたびに崩れて河川に流入した。特に酒匂川流域では流入した大量の火山灰によって河川の川床が上昇し、至る所に天然ダムができ水害の起こりやすい状況になっていた。

1708年8月8日 豪雨により堤防決壊

前日からの豪雨で大規模な土石流が発生し、酒匂川の大口堤(山北高校の南側辺り)が決壊して、足柄平野を火山灰交じりの濁流で埋め尽くした。

突発的な豪雨に起因する土石流や、過度な土砂供給によって、河床はさらに上昇し続けた。これ以降、下流の足柄平野では噴火後100年近くに渡り、土砂洪水氾濫が繰り返し発生することになった。

関東一円に降灰をもたらした大噴火は、これ以前は802年であった。更にそれ以前は、小噴火や溶岩流が多かったようである。

ここでまとめてみると

- ・東海地震、東南海南海連動地震等が発生した場合は富士山の観測を強化すること。
- ・必ずしも大規模降灰が起こるわけではない。
- ・降灰直後に雨が降ると家屋倒壊の恐れがある為、早急に屋根等から灰を下さなければならない。
- ・大規模降灰があった場合は、交通インフラの復旧、上水道の復旧(飯泉取水堰の機能確保)、雨水排水路の復旧、灰捨て場の確保...等。
- ・丹沢湖の湖底が上昇し、流量の調整機能がなくなる可能性がある。

今のうちにできることは、

- ・酒匂川の河床を下げておくこと。
- ・市の上水道の7割が酒匂川が原水のため代替手段の検討が必要。

インフルに注意!?

インフルエンザによる学級閉鎖のお知らせが、連日届いています。2/27現在で、11校(園)、25学級の閉鎖です。

下表は今年の学級閉鎖状況、図1は小田原医師会管内の感染件数の推移で、今年はピークが2つになります。図2は学年別の学級閉鎖数を示しています。学年別では2、3年生が多く全体の64%を占めています。1月はA型が多かったようですが、現在はほとんどがB型とのことです。

二度り患した児童もいるので注意が必要です。

期間	学校(学級)
2/27-28	三の丸小学校(2年1組) 山王小学校(1年、3年1組)
2/26-28	富士見小学校(3年2組) 下府中小学校(5年1組、5年2組) 矢作小学校(5年1組、5年2組)
2/26-27	久野小学校(3年2組)
2/24-25	報徳幼稚園(ほし組)
2/25-26	三の丸小学校(2年2組、2年3組) 山王小学校(3年2組)
2/25-27	豊川小学校(1年3組)
2/18-19	桜井小学校(4年1組)
2/17-18	桜井小学校(3年1組)
2/12-13	桜井小学校(2年1組) 矢作小学校(2年3組) 山王小学校(2年1組)
2/12-13	桜井小学校(6年1組) 下曽我小学校(2年)
2/5-7	矢作小学校(3年1組)
2/4-6	豊川小学校(2年2組)
1/23-24	矢作小学校(3年2組)
1/16-17	東富水小学校(3年2組)

図1 インフルエンザ感染件数の推移
(小田原市・湯河原町・箱根町・真鶴町)

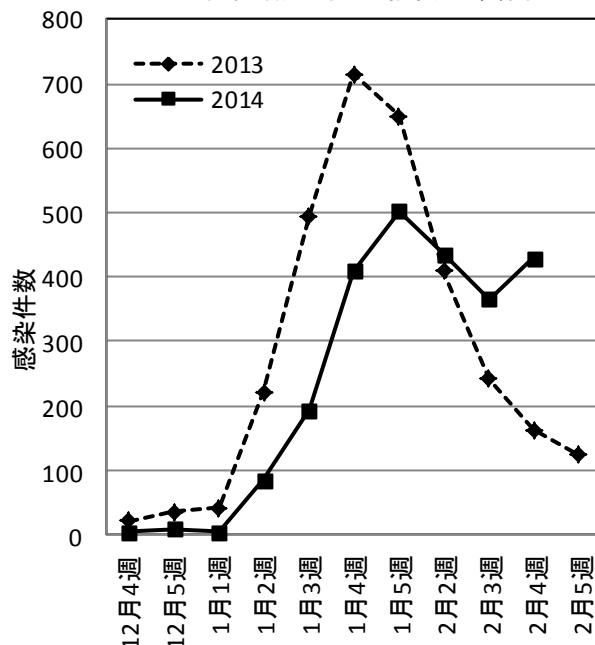
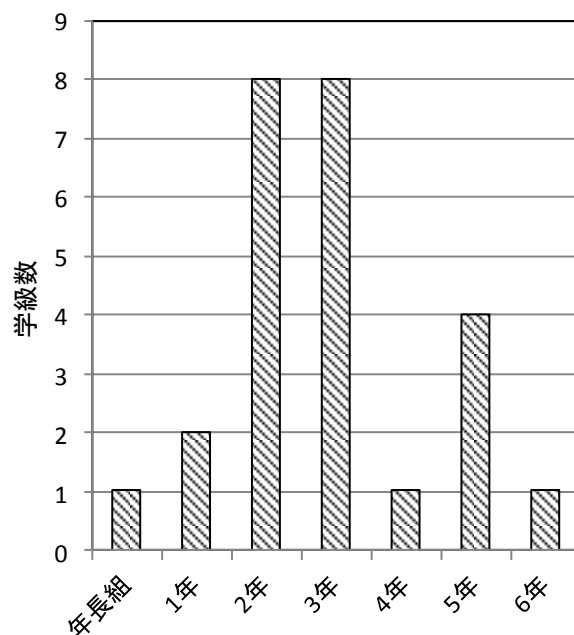


図2 学年別学級閉鎖数



武松政策研究会からのお知らせ
**3月の議会報告会(個人)は、
都台により中止します。**



HPIは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**